

# 高耐性親水化剤を開発

大成ファインケミカル

## 塗布後早期に効果発揮

【千葉】大成ファインケミカル(千葉真旭

市、稲生豊人社長、0479・64・2077)は、アクリルポリマー系の親水化剤「WXシリーズ」を開発した。建材用防汚塗料などに添加する機能性材料で、高い耐久性と塗布後早期に親水性を発揮する性能を両立する。6日にサンプル出荷を開始、今夏発売を計画する。価格は既存の親水化剤より高く設定する予定で、性能を訴求し市場開拓する。

四級アンモニウム塩系アクリルポリマーをベースに開発した。界面活性剤など低分子の親水化剤は耐久性が課題で、高分子材料の活用でこれを解消。また、無機系材料では塗装後に親水性を得るまで一定期間が必要だが、新材料は有機系で早期に性能を発揮する。透明性も高く、クリア塗料などに適する。

塗料やコーティング材料メーカー向けに販売する。防汚性能を付加する建材用塗料、水回り用コーティング剤などでの需要を想定。また、フィルムやレンズの多層コーティング時にぬれ性を向上させる表面改質剤としての利用も見込む。